

対 応 方 針

【事業名】 大竹市公共下水道事業

下水道は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水の防除を目的とし、必要不可欠な生活基盤施設である。

本市の汚水整備普及率は平成19年度末で93.4%に達しているところであり、現在も生活環境の改善の観点から未整備区域の整備普及促進に努めているところである。処理場については、供用開始後38年（平成20年現在）を経過しており、水処理施設及び汚泥処理施設の改築・更新及び耐震化を進める必要があり、それらに併せて公共用水域の水質保全の観点から高度処理施設の導入を進める計画である。

また、雨水整備状況は、小島雨水排水ポンプ場、御幸ポンプ場、小方ポンプ場は整備が完了しているが、玖波雨水排水ポンプ場の一部と、新町雨水排水ポンプ場は未整備となっている。管渠においては既設水路網を活用した計画となっているが、能力不足となっている路線がある。今後、都市化の進展や市街地の浸水被害状況を見極めたうえで、浸水防除の観点から雨水整備に努める必要がある。

以上のことから、本事業は住環境及び水環境を守るために継続していくこととする。

平成20年11月28日

大竹市長 入山 欣郎